

# 第5回 GRAND MASTERS HOCKEY ASIAN CUP

2019. 10. 17. - 10. 23.  
Donghac Sunrise Hockey Stadium

## 【試合結果・戦評】

○10月17日(木) 15時30分 <Bピッチ>

<第1試合> (Asian Cup 第1戦)

日本	5	<table><tr><td>1</td><td>—</td><td>0</td></tr><tr><td>0</td><td>—</td><td>0</td></tr><tr><td>3</td><td>—</td><td>0</td></tr><tr><td>1</td><td>—</td><td>0</td></tr></table>	1	—	0	0	—	0	3	—	0	1	—	0	0	Singapore
1	—	0														
0	—	0														
3	—	0														
1	—	0														

第1Q、立上り1分に高森がシュートするなど押し気味の展開。5分にシンガポールの縦パスからサークルインされるも出口がしのぐ。12分にドリブルインでPCを取り、高森のシュートを竹下が竹がタッチして先制点を決める。

第2Q、一進一退の展開から、6分にシンガポールがPCを取得するもはずす。15分に松尾のリバースシュートが決まり2-0。17分にPSを取得するもGK右にはずれる。

第3Q、4分に右からのクロスに竹下がタッチシュートを見事に決める。7,8分と立て続けにシンガポールがPCを取得するも防ぎきる。13分、國広がイエローカードで退場。14分、石川がサークル内に持ち込みプッシュシュートを決める。16分、シンガポールが反撃するも守りきる。

第4Q、立上り攻めるも決めきれない。4分、シンガポールがPCを取得するもミスで入らず。5分、上杉からのパスを受けた高森のシュートが見事に決まる。その後は最後まで守り切って5-0で完勝。

○10月18日(金) 15時30分 <Bピッチ>

<第2試合> (フレンドリーマッチ 第1戦)

日本	4	<table><tr><td>1</td><td>—</td><td>0</td></tr><tr><td>0</td><td>—</td><td>0</td></tr><tr><td>3</td><td>—</td><td>0</td></tr><tr><td>0</td><td>—</td><td>2</td></tr></table>	1	—	0	0	—	0	3	—	0	0	—	2	2	Hong Kong
1	—	0														
0	—	0														
3	—	0														
0	—	2														

第1Q、日本が押し気味に進めるも得点に至らず。11分、望月がドリブルでサークル内に持ち込みシュートを決めて先制。13分にPCを取得するも決まらず。その後も一方的な攻撃が続くが決めきれない。

第2Q、立上りから攻め続ける。5分、香港がPCを取得するも日本が守りきる。10分、日本がPCを取得するも入らず。16分、香港がPCを取得するも入らず。

第3 Q、5分に香港がPCを取得するも出口が必死のクリア。9分、竹下が打ち込みのこぼれ球をプッシュシュートし、2-0。14分、上杉からのパスを石川がタッチシュートを決めて3-0。15分、國広がボールを奪い持ち込んだリバースパスを石川がタッチシュートで4-0。16分、香港ケビンがシュートするも入らず。

第4 Q、香港は元代表2人を前に上げて猛攻に転じる。3分、5分と立て続けにPCを取られるもなんとか凌ぐ。〇分、リバウンドを押し込まれてついに得点を許す。その後も香港の攻勢が続き17分、PSを決められて4-2で終了。

○10月20日(日) 12時00分 <Bピッチ>

<第3試合> (Asian Cup 第2戦)

日 本	2	[	1	—	0	]	2	Korea
			0	—	0			
			1	—	0			
			0	—	0			

第1 Q、開始早々に望月が右から持ち込むもクリアされる。まだ固さの残る3分、韓国がサークルトップからの打ち込みをタッチシュートで決めて先制点をあげる。その後、瀧井、高森がシュートを放つも入らず。17分、PCを取得するもクリアされる。

第2 Q、4分にPCを取得するも決められず。6分、PCで高森が打ったシュートのリバウンドを竹下が叩き込んで同点に追いつく。15分、トップでボールを奪った石川が左隅にシュートを決めて逆転。

第3 Q、開始1分にPCを取得するも決めきれず。2分、韓国のカウンターで右からシュートを打たれるも枠をはずす。10分、韓国のPCを右から決められて同点に追いつかれる。17分、高森がエンドラインまで持ち込みクロスを通すも決めきれず。

第4 Q、1分にPCを取得するもストッパーが止められず。7分、10分にもPCを取得するも決められず。その後も日本が何度もサークル内で得点チャンスを作るも決めきれず、2-2で引き分け。

○10月22日(火) 12時00分 <Bピッチ>

<第4試合> (Asian Cup 第3戦)

日 本	0	[	0	—	0	]	0	Malaysia
			0	—	0			
			0	—	0			
			0	—	0			

第1Q、立ち上がり攻め込むもマレーシアの固い守りに拒まれる。2分、3分、6分と立て続きにマレーシアはスクープを使って攻めるが、守りきる。7分、望月がドリブルで持ち込みPCを取得するもボールを止められず。15分、高森が一人で持ち込んでPCを取得、アゲインとなるもシュートは左に外れる。日本がパスを繋いで攻めるのに対して、マレーシアはスクープやロングパスで逆襲する展開。

第2Q、マレーシアサイドでの試合展開が続く。3分PCを取得、高森のシュートは惜しくも左ポストをはずす。両チーム無得点のまま前半を終える。

第3Q、前半と同じ展開が続く。9分、マレーシアが左から強烈なリバースシュートを放つも入らず。10分、竹下がグリーンカードで退場。15分、マレーシアがPCを取得、9番のヒットは左に外れる。

第4Q、2分にマレーシアが一瞬の隙を突き、右から持ち込んだボールをCFがシュートするもGK中野のファインセーブで失点を免れる。10分、マレーシアにグリーンカード、12分國広にイエローカードがでるもなんとか守りきる。そのままスコアレスドローで試合終了。日本は通算成績3勝1分で予選2位。

○10月23日(水) 13時00分 <Bピッチ>

<第3試合> (Asian Cup 決勝戦)

日 本	0	[	0	—	1	]	3	Malaysia
			0	—	1			
			0	—	1			
			0	—	0			

第1Q、開始早々4分にサークル外でのチャージでマレーシアがPCを取得し、強烈なシュートを叩き込まれる。0-1。9分にPCを取得するもGKにセーブされる。12分、16分とPCを取得するが、いずれも入らず。

第2Q、1分にセンタリングを石川が合わせるもGKがセーブ。2分にマレーシアがレフトからのセンタリングを13番が浮かせて、9番が押し込んで0-2。6分に金山が相手に押されて後方に転倒して脳震盪で退場。9分にPCを2本立て続けに取得するもクリアされる。

第3Q、2分に高森からの絶好のパスが出るも触れず。4分、望月が持ち込んでシュートするが、GKがクリア。5分、高森がグリーンカードで退場。11分、マレーシアがPCを取得、ストッパーが死守。16分、マレーシアの13番がサークルトップをドリブルで左に回り、高く浮かしたリバースシュートを見事に決める。

第4Q、2分、3分、5分と立て続けにPCを取得するも、いずれもGKにクリアされる。9分のPCは止められず。11分、竹下から絶妙のセンタリングが出されるもシュートできず。そのまま試合が終了し、0-3で敗れる。準優勝。

今大会を通じての課題としては、まずエントリーに関する問題点が挙げられる。アンダーエイジを使うために16名でチーム編成を行ったが、怪我や途中帰国等もあり最終戦は実質12名で戦うことになった。長期大会では16人は少なく、やはり18名が必要であろう。戦術面では、セットプレーも含めて決定力不足が挙げられる。

## ○ ASIAN CUP (+ 6 0) < 最 終 成 績 >

優 勝	マレーシア	2勝1分
2 位	日本	1勝2分
3 位	シンガポール	0勝3敗
4 位	韓国	1勝1敗1分

- 1) 予選1位と2位による決勝戦は、マレーシアが日本に3-0で勝利。
- 2) 予選3位と4位による順位決定戦は、シンガポールが韓国にSOで勝利。
- 3) 香港は人数不足のため公式戦は不参加。